

# 「2022年度 実践的研究助成ワークショップ」のご案内 《2022年11月23日開催・ご参加無料》



初のハイブリッド開催！

来場でも、オンラインでも  
だれでも参加できます。  
(ご参加無料)

下のQRコード・財団HP  
からお申込みください。

○日本生命財団は財団設立40周年を記念し、2020年度より児童分野の研究助成制度をスタートいたしました。

当助成は「実践的研究助成」と称し、研究チームは必ず現場の実践家(医師、教師、保育士等)を含めて構成する等を特色として、研究成果の社会還元・社会実装を目指すものとなっております。

○今回、2021年度1年助成に採択された6チームの研究成果を公開ワークショップ《2022年11月23日(水・祝日)開催》にて発表いたします(プログラムは裏面ご参照)。

○ご参加は、ご来場(大阪・淀屋橋)、オンラインいずれも可能です。奮ってお申込みください。お申込みは、下のQRコード、財団HPから。

## □「実践的研究助成」公募概要

助成期間	2年	1年
助成金額	400万	100万
助成対象	研究者、または実践家	研究者、または実践家 (博士課程在籍者含む)
研究組織	研究者と実践家双方が必ず参画する	

※公募については、例年12月頃から開始いたします。

2022年11月23日 **水** 13:00-17:00

TKPガーデンシティ大阪淀屋橋  
〒541-0042 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋ビル

■会場来場参加\* 申込〆切日 11月16日(水)

■オンライン参加 申込〆切日 11月18日(金)



## ご案内・お申込み

右記QRコード、または  
当財団ホームページから  
お申込みください。



HP ; <http://www.nihonseimei-aidan.or.jp>

\* 会場席数には限りがございますので、申込はお早目に。

## 《当日プログラム（予定）》

13：00 開会挨拶 日本生命財団 理事長 林 武史

13：10 2021年度実践的研究助成〔1年助成研究〕報告

13：20 『発達障害児の不安軽減に向けた家族参加型CBTの受容性と有効性』

野上 慶子 氏（神戸大学大学院 博士課程、日本学術振興会 特別研究員DC2）

13：45 『発達障害ペアレントトレーニングの支援-親の怒り制御への注目-』

高堰 仁美 氏（東京大学大学院 博士課程）

14：10 『言語の問題を早期に発見する評価法の開発：文の多様性の視点から』

遠藤 俊介 氏（埼玉県立小児医療センター 主任）

14：35 休憩

14：45 質疑応答（1）

15：00 『聴覚過敏を持つ子どもたちの音環境づくり実践』

野口 紗生 氏（一般社団法人 子どものための音環境デザイン 理事）

15：25 『予防のための子どもの家具遊具化視点に基づく教材開発と効果検証』

大野 美喜子 氏（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 研究員）

15：50 『福島原発事故後の子どもの発達の実態解明と養育者支援の効果検証』

内山 登紀夫 氏（大正大学 教授）

16：15 休憩

16：25 質疑応答（2）

16：40 総括 日本生命財団 児童・少年の健全育成助成選考委員会 委員長 松見 淳子

17：00 閉会

